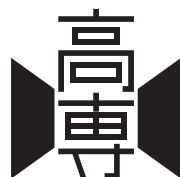


令和6年度

入学者募集要項

入学案内



| | | |
|--------------|--------------|--|
| 推薦 | WEB出願受付期間 | 令和5年12月19日(火)～令和6年1月10日(水) |
| | 願書受付期間 | 令和6年1月5日(金)～1月10日(水) |
| | 面接日 | 令和6年1月20日(土) ※追試験 2月3日(土) |
| | 判定結果の通知 | 令和6年1月24日(水) ※追試験受験者 2月6日(火) |
| | 入学確約書提出期限 | 令和6年2月5日(月) ※追試験受験者 2月16日(金) |
| | 合格者発表 | 令和6年2月26日(月) |
| 学力 | WEB出願受付期間 | 令和5年12月19日(火)～令和6年1月31日(水) |
| | 願書受付期間 | 令和6年1月25日(木)～1月31日(水) |
| | 試験日 | 令和6年2月11日(日) ※追試験 2月25日(日) |
| | 合格者発表 | 令和6年2月26日(月) ※追試験受験者 3月1日(金) |
| | 入学確認書提出 | 複数校：令和6年3月4日(月) 14時 ※追試験受験者 3月12日(火) 14時 一般：令和6年3月15日(金) 14時 |
| 帰国子女 特別選抜 | WEB出願受付期間 | 令和5年12月19日(火)～令和6年1月31日(水) |
| | 願書受付期間 | 令和6年1月25日(木)～1月31日(水) |
| | 試験日 | 令和6年2月11日(日) ※追試験 2月25日(日) |
| | 合格者発表 | 令和6年2月26日(月) ※追試験受験者 3月1日(金) |
| | 入学確認書提出 | 令和6年3月15日(金) 14時 |
| 合格者入学手続日 | 令和6年3月19日(火) | |

※追試験に関する詳細は15ページに記載

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Hachinohe College

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16番地1

TEL (0178) 27-7233 (学生課入試・キャリア支援係) FAX (0178) 27-9487 (学生課)

ホームページ <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス nyushi-o@hachinohe-ct.ac.jp

目 次

| | |
|----------------------------------|----|
| ○ 八戸高専とは | 1 |
| ○ 入学者募集要項 | |
| I. 募集定員 | 2 |
| II. 選抜の方法 | 2 |
| ○ 令和6年度入試の概要 | 3 |
| ○ 「東北地区高専複数校志望受験制度」の概要 | 4 |
| ○ WEB出願について | 5 |
| ○ 出願から入学手続きまでの流れ | 6 |
| A. 国際的エンジニア育成特別選抜 | 7 |
| B. 推薦による入学者の選抜 | |
| 1. 出願資格 | 7 |
| 2. 推薦人員 | 7 |
| 3. 出願手続 | 7 |
| 4. 選抜の実施方法 | 9 |
| 5. 面接試験日時及び会場 | 9 |
| 6. 推薦選抜結果の通知及び入学確約書 | 9 |
| 7. 不合格となったときの取扱い | 9 |
| 8. 合格者の発表 | 9 |
| C. 学力試験による入学者の選抜（一般・複数校） | |
| 1. 出願資格 | 10 |
| 2. 出願手続 | 10 |
| 3. 選抜の実施方法 | 11 |
| 4. 学力試験日時及び会場 | 12 |
| 5. 合格者の発表 | 12 |
| 6. 入学確認書の提出 | 12 |
| D. 帰国子女特別選抜 | |
| 1. 出願資格 | 12 |
| 2. 出願手続 | 13 |
| 3. 選抜の実施方法 | 14 |
| 4. 学力試験日時及び会場 | 14 |
| 5. 合格者の発表 | 14 |
| 6. 入学確認書の提出 | 14 |
| III. 追試験 | 15 |
| 1. 追試験対象者 | 15 |
| 2. 追試験受験の手続き | 15 |
| 3. 追試験日時及び会場 | 15 |
| 4. 追試験結果の通知及び合格者発表 | 15 |
| IV. 「学力試験による入学者の選抜」における最寄り地等受験制度 | 16 |
| V. 追加合格 | 16 |
| VI. 受験及び入学後に配慮を必要とする者等の事前連絡 | 16 |
| VII. 個人情報の取り扱いについて | 17 |
| VIII. 学力試験による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示 | 17 |
| IX. 入学手続等 | 17 |
| X. 入学案内 | |
| 1. 入学時に必要な予定経費 | 18 |
| 2. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度 | 18 |
| 3. 高等教育の修学支援新制度 | 18 |
| 4. 奨学金制度 | 18 |
| 5. 高等学校等就学支援金制度 | 19 |
| ○ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー | 20 |
| ○ 試験場案内図 | 21 |

八戸高専とは

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため本科1学科4コース・専攻科1専攻4コースを設置し、具体的に設定したディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）の達成を目指して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

教育方針

豊かな教養の基盤の上に得意とする工学専門分野の知識と技術を身につけ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、自ら課題を発見しその解決に向けて自ら学ぶ姿勢を持ち、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する創造力豊かな技術者を養成することを教育理念としています。

準学士課程は、教育基本法及び学校教育法に基づき、教養と工学専門分野の知識・技術を身につけるとともに、自ら課題を発見しその解決に向けて自ら学ぶ姿勢を持ち、産業界のニーズに応えられる実践的・創造的技術者を育成することを目的とします。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

○ 養成しようとする技術者像

本校が養成しようとしている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的・創造的な技術者」です。

○ ディプロマ・ポリシー(卒業認定の方針)とカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)(後述、20頁参照)

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 求める学生像

○ 1年次入学

- AP1. 他人への思いやりができ、責任ある行動がとれる人
- AP2. 数学・理科や英語の基礎的な知識を身につけ、主体的に学習する意欲がある人
- AP3. 「ものづくり」や「科学・技術」に興味をもち、知的探究心をもって思考しようとする人
- AP4. チームで協力し、技術を通して社会に貢献する夢がある人
- AP5. 多様な人々と積極的に対話し、自分の意見や考えを表現できる人

2. 入学者選抜の基本方針

第1年次入学者選抜

次の四つの方法で選抜します。基礎学力については、本校での学習に重要な数学、理科、英語の成績を重視します。

(1) 国際的エンジニア育成特別選抜

学力確認検査、課題実験の参加及びレポート作成、並びに面接試験の総合評価によって選抜します。

(2) 推薦選抜

出身中学校長から推薦された志願者のうち、優れた素養と基礎学力を身につけ本校への入学意志が強い人を、推薦書、調査書及び面接試験の総合評価によって選抜します。

(3) 学力選抜

志願者のうち、優れた素養と基礎学力を身につけた人を、学力試験（数学、理科、英語、国語、社会）及び調査書の総合評価によって選抜します。

(4) 帰国子女特別選抜

外国における教育を受けた人で一定の条件を満たす志願者のうち、本校の学習に必要な素養と基礎学力を身につけた人を、学力試験（数学、理科、英語）、作文、面接試験及び調査書等を総合的に評価して選抜します。

令和6年度入学者募集要項

I. 募集定員

| 学 科 | コ ー ス | 募集人員 | 入学定員 |
|----------------------|-----------------------------|------|---------|
| 産 業 システム 工 学 科 | 機 械 ・ 医 工 学 コ ー ス | 40 名 | 計 160 名 |
| | 電 気 情 報 工 学 コ ー ス | 40 名 | |
| | マ テ リ ア ル ・ バ イ オ 工 学 コ ー ス | 40 名 | |
| | 環 境 都 市 ・ 建 築 デ ザ イ ン コ ー ス | 40 名 | |

II. 選抜の方法

入学者の選抜は、**国際的エンジニア育成特別選抜**、**推薦**及び**学力試験**による選抜並びに**帰国子女特別選抜**の四つの方法で行います。

選抜方法別募集人員

| 選 抜 方 法 | 募 集 定 員 | |
|--------------------|-------------|----------|
| 国際的エンジニア育成特別選抜 | 最大16名 (10%) | 各コース最大4名 |
| 推 薦 に よ る 選 抜 | 96名 (60%) | 各コース24名 |
| 学力試験による選抜 (一般・複数校) | 48名 (30%) | 各コース12名 |
| 帰 国 子 女 特 別 選 抜 | 若 干 名 | |

※学力試験による選抜の募集定員は、他の選抜結果等により変動します。

令和6年度入試の概要

各コースの募集人員は40名で、国際的エンジニア育成特別選抜、推薦選抜、学力選抜の3つの方法で行います。

(1) 国際的エンジニア育成特別選抜

科学技術や国際交流等に興味・関心がある人材を早期に発掘し、入学前段階から「STEAM教育」を実施し入学後の教育活動につなげる体系的な教育プログラムにより、将来グローバルに活躍できる技術者を育成することを目的とした特別な選抜制度です。

英語、数学の試験、実験レポートの作成と面接によって選抜します。

❖募集人員：最大16名（各コース最大4名） ※入学定員の最大10%

❖選抜方法：9月に入学試験を行い、合格内定者を決定します。

1月に調査書等による入学資格確認を経て、最終的な合格者を決定します。

(2) 推薦選抜

中学校長からの推薦書、調査書及び面接によって選抜します。推薦選抜は、第二志望までを対象としており、第一志望で不合格となった場合でも、第二志望で合格となる場合があります。推薦選抜の結果不合格になった場合は、学力選抜の受験者となります。推薦による入学者数は、各コースとも募集人員の60%です。

(3) 学力選抜

学力試験と調査書によって選抜します。学力試験は、理科・英語・数学・国語・社会の5教科で、公立高校等との併願も可能です。また、八戸高専、一関高専、秋田高専、仙台高専の4高専の中から志望順をつけて複数校同時に応募することができる複数校受験制度を選択することができます。ただし、複数校受験制度の出願資格は、入学意思が特に強固であり、合格した高専に必ず入学する者となります。学力による入学者数は、各コースとも募集人員の30%です。なお、他の選抜試験結果等により変動することがあります。

推薦選抜及び学力選抜は、WEB出願となります。

「東北地区高専複数校志望受験制度」の概要

東北地区高専複数校志望受験制度（「学力選抜（複数校）」）は、従来の本校のみを志望する学力選抜（「学力選抜（一般）」）に加え、高専を志望する受験生の進路選択拡大のため、東北地区4高専（八戸・一関・仙台（広瀬キャンパス・名取キャンパス）・秋田）の学力選抜において、複数の高専に同時に出願することを可能にする制度です。

八戸高専4コース、一関高専1学科、仙台高専3類、秋田高専1学科から最大第9志望まで出願することができます。ただし、2校以上に合格することはできず、志望順位が上位の高専の合格を優先します。出願の条件は、入学意思が特に強固であり、合格した高専に必ず入学する者とします。

1. 志願可能な高専と募集人員等

| 高専名 | 学科名 | コース名 | 募集人員 | |
|-----------|-----------|---|----------------|-----|
| 八戸高専 | 産業システム工学科 | 機械・医工学コース | 12名 | |
| | | 電気情報工学コース | 12名 | |
| | | マテリアル・バイオ工学コース | 12名 | |
| | | 環境都市・建築デザインコース | 12名 | |
| 一関高専 | 未来創造工学科 | 1学科での大括り募集（※第2学年進級時に4つの系（機械・知能系、電気・電子系、情報・ソフトウェア系、化学・バイオ系）のいずれかに配属） | 80名 | |
| 仙台高専 | 総合工学科 | キャンパス名 | 募集人員 | |
| | | 広瀬キャンパス | I類（情報・電子系） | 60名 |
| | | 名取キャンパス | II類（機械・電気・材料系） | 60名 |
| III類（建築系） | 20名 | | | |
| 秋田高専 | 創造システム工学科 | 1学科での大括り募集（※第2学年進級時に4つの系（機械系、電気・電子・情報系、物質・生物系、土木・建築系）のいずれかに配属） | 60名 | |

2. 出願手続き

- (1) 願書提出先
入学願書は、第一志望のコース・類・学科（以下「コース等」）の属する高専に提出します。
- (2) WEB出願受付期間、願書受付期間、出願書類及び出願方法等
受付期間、出願書類や提出方法等は各高専が個別に定めます。※願書提出先高専の募集要項を確認ください。

3. 選抜方法

- (1) 試験会場
第1志望の高専が指定する受験地となります。
第1志望の高専以外の受験地を希望する場合は、「最寄り地受験制度」の手続きを行ってください。
- (2) 試験日時

| | | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2月11日(日) | 9:30~10:20 | 10:40~11:30 | 11:50~12:40 | 13:30~14:20 | 14:40~15:30 |
| | 理科 | 英語 | 数学 | 国語 | 社会 |

- (3) 試験科目

| 八戸高専、一関高専、仙台高専（5教科） | 秋田高専（4教科） |
|---------------------|-------------|
| 理科、英語、数学、国語、社会 | 理科、英語、数学、国語 |

- ※ 第一志望が秋田高専の場合でも、学力選抜（複数校）に出願する場合は「社会」を受験する必要があります。
- ※ 各教科の配点は100点ですが、八戸高専では理科と数学の得点を2倍、英語の得点を1.5倍して選抜し、仙台高専では数学の得点を2倍して選抜します。

- (4) 選抜方法
入学者の選抜は、志望した全高専において学力検査の結果及び調査書の内容等を総合して判定し、合格基準を満たす高専のうち志望順位が最上位の高専（コース等）のみ合格となります。

4. 合格発表

令和6年2月26日(月) 15時 ※発表方法は各高専の募集要項に記載されます。

WEB出願について

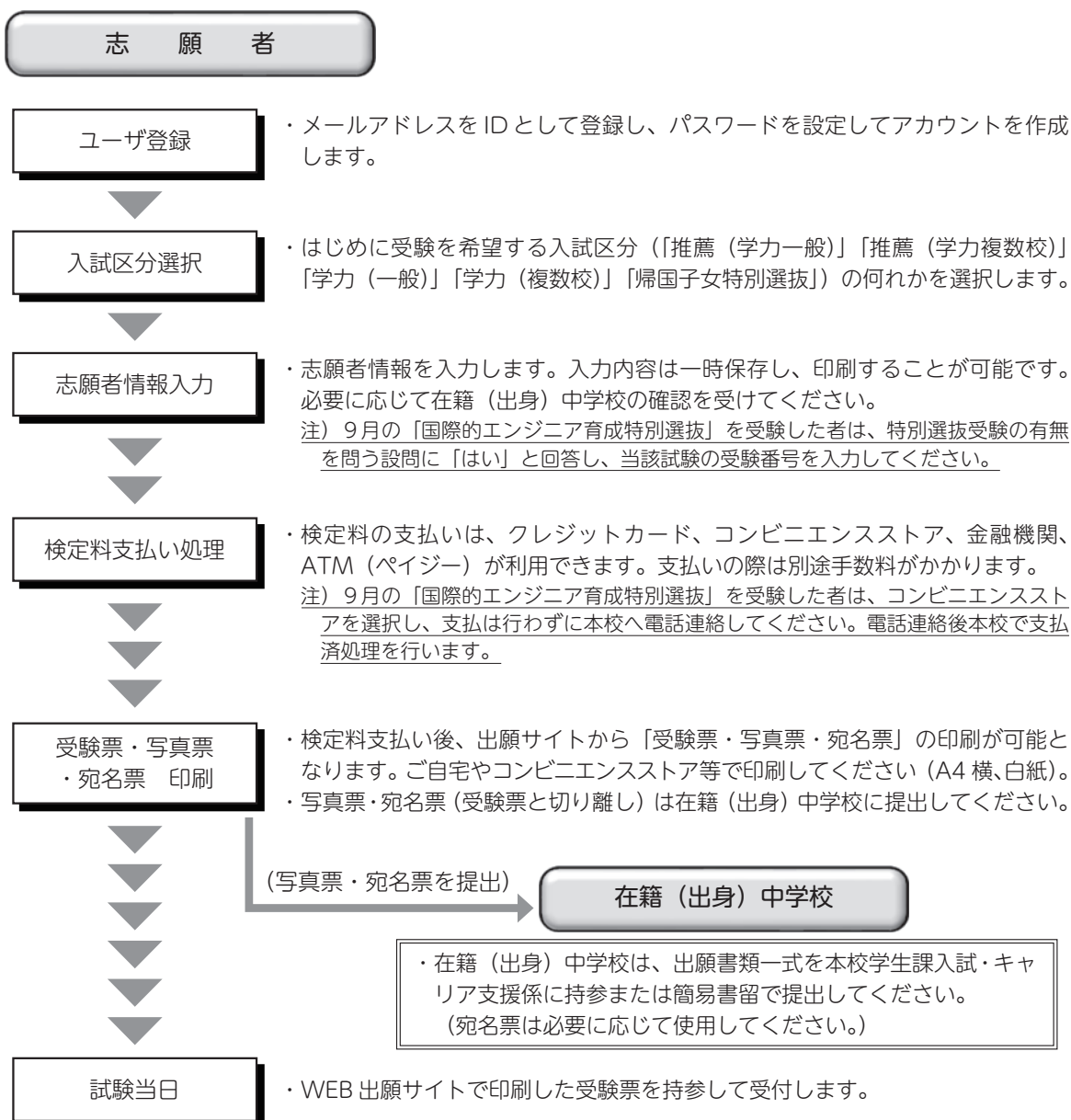
出願手続にはWEB出願システムを利用します。出願者が「WEB出願サイト」上での出願手続を行った後、在籍（出身）中学校から出願に必要な全ての書類が提出されたことをもって出願手続が完了します。

出願者はパソコン・スマートフォン・タブレット端末から「WEB出願サイト」にアクセスし、はじめにユーザ登録を行います。ユーザ登録が完了したら「WEB出願サイト」上において志願者情報の入力や検定料の支払処理などの必要な手続を行うことが可能となります。

「WEB出願サイト」での手続及び検定料支払いが完了したら受験票と写真票の印刷が可能となります。ご自宅のプリンタやコンビニエンスストア等で印刷し、写真票・宛名票を（受験票と切り離して）在籍（出身）中学校に提出してください。受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。

在籍（出身）中学校は、出願者から提出された写真票と合わせて出願手続に必要な書類一式を郵送又は持参にて本校に提出していただきます。入学願書はシステムで管理するため提出は不要です。

－ 出願手続の流れ －



出願から入学手続きまでの流れ

推薦による選抜

学力試験による選抜

○WEB出願受付期間 令和5年12月19日(火)から

○願書受付期間
令和6年1月5日(金)
～1月10日(水)

※ 第2志望コースまで選択可

○面接試験
令和6年1月20日(土)

○選抜結果通知(合格内定)
令和6年1月24日(水)

※ WEB入力画面にて「一般」又は「複数校」の何れかを選択

学力選抜(一般)

学力選抜(複数校)

○願書受付期間 令和6年1月25日(木)～1月31日(水)

※ 八戸高専の募集コースから最大
第4志望まで選択可

※ 八戸・一関・仙台・秋田高専の募
集コース等から最大第9志望まで
選択可

※ 願書は第一志望の高専に提出
※ 入学意思が特に強固であり、合格
した高専に必ず入学する者

※ 合格内定とならなかった場合は学力選抜の受験生となります。
※ 第一及び第二志望は推薦選抜で志望したコースが適用されます。

○入学確約書提出期限
令和6年2月5日(月)

○学力試験 令和6年2月11日(日)

○合格発表 令和6年2月26日(月)

【学力選抜(一般)】

【学力選抜(複数校)】

○入学確認書提出期限
令和6年3月15日(金)

○入学確認書等提出期限
八戸: 令和6年3月4日(月)

○入学手続き日 令和6年3月19日(火)

A. 国際的エンジニア育成特別選抜

令和6年3月に中学校、義務教育学校卒業見込みの者または中等教育学校前期課程を修了見込みの者で、科学・技術や国際交流に対する興味・関心を有し、将来社会のリーダーとしてグローバルに活躍できる科学者や技術者を目指す者を対象に、早期に進路を決定することができる特別な選抜制度で、9月に選抜試験を実施しています。

出願手続き等の詳細は、「**国際的エンジニア育成特別選抜 入学者募集要項**」をご覧ください。

B. 推薦による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

令和6年3月に中学校、義務教育学校卒業見込みの者または中等教育学校前期課程を修了見込みの者、および文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者で、次の各条件に該当し、在籍中学校等の長が責任をもって推薦する者。

- (1) 人物が優れ、本校への入学の意志が確実な者。
- (2) 志望コースに対して、適性、興味及び関心を有し、志望理由が明確な者。
- (3) 調査書の各記録が優良であり、「各教科の学習の記録」における5段階評定の3年間の総計が**108以上**であること。

2. 推 薦 人 員

推薦による入学者数は、各コースとも**募集人員の60%程度**とします。

一中学校あたりの推薦できる人数の制限はありません。

3. 出 願 手 続

(1) WEB出願受付期間（志願者）

令和5年12月19日(火)から令和6年1月10日(水)16時まで

(2) 入学願書受付期間（在籍中学校）

令和6年1月5日(金)から1月10日(水)まで（郵送の場合も、期間内必着とします。）

受付時間は、9時から16時まで。

(3) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

なお、①から④については、志願者がWEB出願サイトにて手続きを行います。

⑤から⑦迄の書類は本校所定の用紙又は記入要領の条件を満たしたものを使用し、在籍中学校において作成してください。

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-----------|--|
| ① 入 学 願 書 | 「WEB出願サイト」上で必要事項を入力してください。「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものととして取扱いますので、紙媒体での提出は不要です。 |

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-------------|---|
| ② 受 験 票 | 「WEB出願サイト」で出力した「受験票・写真票・宛名票」を印刷し、「受験票」のみ切り離します。なお、受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。受験番号が印字されていることを必ずご確認ください。 |
| ③ 写 真 票 | 「WEB出願サイト」で出力した「受験票・写真票・宛名票」を印刷し、「写真票」のみ切り離します。写真をアップロードしない場合は、写真（出願の3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦7cm×横5cmの大きさのもの）を貼付してください。なお、「写真票」は「宛名票」とともに在籍中学校に提出してください。 |
| ④ 検 定 料 | 16,500円 「WEB出願サイト」で支払処理をしてください。なお、支払処理をする際に別途決済手数料がかかります。 |
| ⑤ 調 査 書 | 本校所定の用紙を使用し、在籍中学校等の長が作成したもの。 |
| ⑥ 推 薦 書 | 本校所定の用紙を使用し、在籍中学校等の長が作成したもの。 |
| ⑦ 成 績 一 覧 表 | 本校所定の用紙を使用し、在籍中学校等の長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。 |

(4) 出願の方法等

(ア) 志願者は、WEB出願サイトにおいて、入試区分のうち「**推薦（学力一般）**」又は「**推薦（学力複数校）**」の何れかを選択した後、必要な情報を入力します。入力完了したら**志願者情報を印刷し在籍中学校の確認を受ける**ようにしてください。

なお、9月の「**国際的エンジニア育成特別選抜**」を受験し入学願書作成時に「**不合格の場合に希望する選抜区分**」を選択した者は、WEB出願サイトの志願者情報入力の際、特別選抜受験の有無を問う設問に「はい」と回答し、「**国際的エンジニア育成特別選抜**」の受験番号を入力してください。また、検定料入力の際は、**コンビニエンスストア**を選択し、**支払は行わずに本校へ電話連絡してください。電話連絡後本校で支払済処理を行います。**

(イ) 志願者は、WEB出願サイトで手続きが完了しましたら、出願サイトから「**受験票・写真票・宛名票**」をご自宅やコンビニエンスストア等で印刷し、「**受験票**」「**写真票**」「**宛名票**」を3つに切り離し、「**写真票**」と「**宛名票**」を**在籍中学校に提出**してください。

なお、「**受験票**」は**試験当日に持参**いただきますので、大切に保管してください。

(ウ) 出願手続きとして本校に提出が必要な書類は上記(3)の**③写真票、⑤調査書、⑥推薦書及び⑦成績一覧表の4種類**となります。封筒の表に「**出願手続書類在中**」と朱記し、**在籍中学校等において一括して提出**してください。（**書類は、二つ折にしないでください。**）なお、郵送の場合は**簡易書留**で送付してください。なお、志願者から提出された宛名票は適宜ご利用ください。

(エ) 志望コースは第二志望まで選択可能ですが、願書受付後の志望コースの変更は認めません。

(オ) 出願書類の提出先

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16番地1
八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係
TEL 0178-27-7233

4. 選抜の実施方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書及び面接試験の総合判定に基づいて行います。

本校では理科研究発表会等のコンテスト等に参加・入賞などしている生徒を歓迎しますので、実績がありましたら記載してください。

5. 面接試験日時及び会場

- (1) 面接試験日 **令和6年1月20日(土)**
- (2) 面接時間 集合時間等の詳細については、在籍中学校等の長宛に通知します。
- (3) 面接試験の会場
 - ① 八戸試験場 八戸工業高等専門学校
 - ② 青森試験場 青森県立保健大学（青森市大字浜館字間瀬58-1）

6. 推薦選抜結果の通知及び入学確約書

推薦選抜の結果は、**令和6年1月24日(水)**に、在籍中学校等の長宛に発送します。

なお、電話等による問い合わせには応じられません。

合格内定者は、2月5日(月)までに入学確約書を提出してください。

7. 不合格となったときの取り扱い

推薦による選抜は、志望したコースにより行いますが、これに不合格となった場合は、推薦選抜の出願の際に、学力試験による入学者の選抜〔令和6年2月11日(日)実施〕の出願に必要な事項を事前にWEB出願サイトにおいて入力することにより学力選抜の志願者となります。出願手続きを再度行う必要はありません。この場合の第一志望コース（推薦選抜において第二志望コースを選択していた場合は、当該第二志望コースを含む。）は推薦選抜で志望したコースが適用されます。

なお、学力選抜における志望コースの選択は、本校のみを志望する学力選抜（以下「学力選抜（一般）」という。）においては本校の募集コースから最大で第4志望まで、東北地区高専複数校志望受験制度による学力選抜（以下「学力選抜（複数校）」という。）においては、参加校が募集するコース・類・学科（以下「コース等」）から最大で第9志望まで選択することができます。このため、推薦選抜で選択した志望コース以外のコース等を追加で志望する場合は、選択区分（一般又は複数校）を選択した後に追加する志望コース等を全て選択してください。学力選抜（複数校）については、出願資格が、入学意思が特に強固であり、合格した高専に必ず入学する者となります。

学力選抜を受験する際は、学力試験当日に推薦選抜の際に使用した「受験票」を持参して受験してください。

また、学力試験の受験地は、推薦選抜と同じ受験地になります。受験地の変更を希望する場合は、**令和6年1月30日(火)**までに本校学生課入試・キャリア支援係（TEL0178-27-7233）へ問い合わせてください。

※青森試験場の場合、面接試験と学力試験で会場が異なります。

8. 合格者の発表

令和6年2月26日(月)15時に受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、在籍中学校等の長に「合格通知書」等を発送します。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

C. 学力試験による入学者の選抜（一般・複数校）

※志願種別について

学力選抜には、本校のみを志望する学力選抜（「学力選抜（一般）」）と東北地区高専複数校志望受験制度による学力選抜（「学力選抜（複数校）」）の2つの入試区分があります。

入学願書を作成（WEB入力）する際に何れの入試区分を希望するのを選択してください。

1. 学力選抜（一般）

本校に入学を希望する者を対象とした選抜試験です。八戸高専4コースから最大第4志望まで選択することができます。公立高校等との併願も可能です。

2. 学力選抜（複数校）※東北地区高専複数校志望受験制度による学力選抜

この制度は、東北地区4高専（八戸高専・一関高専・仙台高専・秋田高専）の「学力選抜」において、高専を志望する受験生の進路選択拡大のため、複数の高専への出願を可能にするものです。

八戸高専4コース、一関高専1学科、仙台高専3類、秋田高専1学科（以下「コース等」という。）の中から最大第9志望まで出願することができます。ただし、**複数の高専及びコース等に合格することはできず、志望順位が上位の高専（コース等）の合格を優先**します。出願資格は、**高専への入学意志が特に強固であり、合格した高専に必ず入学する者**とします。

なお、**出願書類は第一志望に選択した高専において受け付けます**ので、出願方法や出願期限等については出願先高専の募集要項を確認の上で手続きを行ってください。出願書類や出願受付期間等が異なる場合がありますので注意してください。

1. 出 願 資 格

- (1) 中学校または義務教育学校を卒業した者。（令和6年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者。（令和6年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) 中学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者。（学校教育法施行規則第95条）

2. 出 願 手 続

- (1) **WEB出願受付期間（志願者）**
令和5年12月19日(火)から令和6年1月31日(水)16時まで
- (2) **入学願書受付期間（在籍（出身）中学校）**
令和6年1月25日(木)から1月31日(水)まで（郵送の場合も、期間内必着とします。）
受付時間は、9時から16時まで。
- (3) **出願に必要な書類等**
出願に必要な書類等は次のとおりです。
なお、①から④については、志願者がWEB出願サイトにて手続きを行います。
⑤及び⑥の書類は本校所定の用紙又は記入要領の条件を満たしたものを使用し、在籍（出身）中学校において作成してください。

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-----------|--|
| ① 入 学 願 書 | 「WEB出願サイト」上で必要事項を入力してください。「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものととして取扱いますので、紙媒体での提出は不要です。 |

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-------------|---|
| ② 受 験 票 | 「WEB出願サイト」で出力した「受験票・写真票・宛名票」を印刷し、「受験票」のみ切り離します。なお、受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。受験番号が印字されていることを必ずご確認ください。 |
| ③ 写 真 票 | 「WEB出願サイト」で出力した「受験票・写真票・宛名票」を印刷し、「写真票」のみ切り離します。写真をアップロードしない場合は、写真（出願の3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦7cm×横5cmの大きさのもの）を貼付してください。なお、「写真票」は「宛名票」とともに在籍（出身）中学校に提出してください。 |
| ④ 検 定 料 | 16,500円 「WEB出願サイト」で支払処理をしてください。なお、支払処理をする際に別途決済手数料がかかります。 |
| ⑤ 調 査 書 | 本校所定の用紙を使用し、在籍（出身）中学校等の長が作成したもの。 |
| ⑥ 成 績 一 覧 表 | 本校所定の用紙を使用し、在籍（出身）中学校等の長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。ただし、本校の推薦選抜志願用に提出した場合、及び過年度卒業生の場合は、提出の必要はありません。 |

(4) 出願の方法等

(ア) 志願者は、WEB出願サイトにおいて、入試区分のうち「**学力（一般）**」又は「**学力（複数校）**」の何れかを選択した後、必要な情報を入力します。入力が完了したら**志願者情報を印刷し在籍（出身）中学校の確認を受ける**ようにしてください。

なお、9月の「**国際的エンジニア育成特別選抜**」を受験し入学願書作成時に「**不合格の場合に希望する選抜区分**」を選択した者は、WEB出願サイトの志願者情報入力の際、特別選抜受験の有無を問う設問に「**はい**」と回答し、「**国際的エンジニア育成特別選抜**」の**受験番号**を入力してください。また、**検定料入力の際には、コンビニエンスストアを選択し、支払は行わずに本校へ電話連絡してください。電話連絡後本校で支払済処理を行います。**

(イ) 志願者は、WEB出願サイトでの手続きが完了しましたら、出願サイトから「**受験票・写真票・宛名票**」をご自宅やコンビニエンスストア等で印刷し、「**受験票**」「**写真票**」「**宛名票**」を3つに切り離し、「**写真票**」と「**宛名票**」を**在籍（出身）中学校に提出**してください。

なお、「**受験票**」は**試験当日に持参**いただきますので、大切に保管してください。

(ウ) 出願手続きとして本校に提出が必要な書類は上記(3)の**③写真票、⑤調査書及び⑥成績一覧表の3種類**となります。封筒の表に「**出願手続書類在中**」と朱記し、**在籍（出身）中学校等において一括して提出**してください。（**書類は、二つ折にしないでください。**）なお、郵送の場合は**簡易書留**で送付してください。なお、志願者から提出された宛名票は適宜ご利用ください。

(エ) 願書受付後の志望コースの変更は認めません。

(オ) 出願書類の提出先

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16番地1
八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係
TEL 0178-27-7233

3. 選抜の実施方法

(1) 入学者の選抜は、学力試験と調査書の総合判定に基づいて行います。なお、学力試験の教科及び配点は次のとおりです。

| | | | | | |
|-----|--------|----------|--------|------|------|
| 教科名 | 理科 | 英語 | 数学 | 国語 | 社会 |
| 配点 | 100点×2 | 100点×1.5 | 100点×2 | 100点 | 100点 |

注) 学力選抜(複数校)において他校では配点方法が異なる場合があります。

- (2) 学力試験の解答はマークシート方式となりますので、黒鉛筆(HB)を用意してください。

4. 学力試験日時及び会場

- (1) 学力試験日時

| | | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2月11日(日) | 9:30~10:20 | 10:40~11:30 | 11:50~12:40 | 13:30~14:20 | 14:40~15:30 |
| | 理科 | 英語 | 数学 | 国語 | 社会 |

- (2) 学力試験の会場

- ① 八戸試験場 八戸工業高等専門学校
- ② 青森試験場 青森中央学院大学(青森市横内字神田12-1)
- ③ 受験者の居住地付近の高専等(詳細はIV. 最寄り地等受験制度を参照)

注) 学力選抜(複数校)の志願者で、願書提出校(第一志望校)と異なる試験会場での受験を希望する場合は当該出願校に対し「最寄り地等受験制度」の手続きを行ってください。

- (3) 受験上の注意

- ① 受験者は、学力試験当日9時10分までに指定された試験室に入室してください。
- ② 受験票に記載してある「受験者心得」をよく読んでおいてください。

5. 合格者の発表

令和6年2月26日(月)15時に受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、在籍(出身)中学校等の長に「合格通知書」等を発送します。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

6. 入学確認書の提出

学力試験の合格者に対して、日程の関係上、入学意志の有無を速やかに確認する必要がありますので、在籍(出身)中学校等の長は合格者の意志を確認の上、「**入学確認書**」を、**学力選抜(複数校)の合格者については3月4日(月)14時必着、学力選抜(一般)の合格者については3月15日(金)14時必着**で郵送または持参により提出してください。期限までに郵送等ができない場合は、FAXまたは電子メールにより期限までに送信したうえで、別途原本を郵送または持参により提出してください。

なお、入学確認書の用紙は、合格通知の際にお送りします。

D. 帰国子女特別選抜

1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を受けている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、令和4年4月以降の帰国者)で、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 中学校または義務教育学校を卒業した者、または令和6年3月卒業見込みの者。
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者、または令和6年3月修了見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設^{*}の当該課程(学校教育法施行規則第95条第2号)を修了、または令和6年3月修了見込みの者。

- (4) 外国において、学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）した者、または令和6年3月卒業見込み（修了見込み）の者。

※在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子供のために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。

入学を志願する者は、入学資格等を確認しますので、令和6年1月12日(金)までに本校学生課入試・キャリア支援係まで電話・電子メール・郵便等により照会してください。

2. 出願手続

- (1) WEB出願受付期間（志願者）

令和5年12月19日(火)から令和6年1月31日(水)16時まで

- (2) 入学願書受付期間（在籍（出身）中学校）

令和6年1月25日(木)から1月31日(水)まで（郵送の場合も、期間内必着とします。）

受付時間は、9時から16時まで。

- (3) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

なお、①から④については、志願者がWEB出願サイトにて手続きを行います。

⑤から⑦の書類は本校所定の用紙又は記入要領の条件を満たしたものを使用し、⑤については志願者が、⑥及び⑦については在籍（出身）中学校においてそれぞれ作成してください。

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-------------|---|
| ① 入 学 願 書 | 「WEB出願サイト」上で必要事項を入力してください。「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものととして取扱いますので、紙媒体での提出は不要です。 |
| ② 受 験 票 | 「WEB出願サイト」で出力した「受験票・写真票・宛名票」を印刷し、「受験票」のみ切り離します。なお、受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。受験番号が印字されていることを必ずご確認ください。 |
| ③ 写 真 票 | 「WEB出願サイト」で出力した「受験票・写真票・宛名票」を印刷し、「写真票」のみ切り離します。写真をアップロードしない場合は、写真（出願の3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦7cm×横5cmの大きさのもの）を貼付してください。なお、「写真票」は「宛名票」とともに在籍（出身）中学校に提出してください。 |
| ④ 検 定 料 | 16,500円 「WEB出願サイト」で支払処理をしてください。なお、支払処理をする際に別途決済手数料がかかります。 |
| ⑤ 海外在住状況説明書 | 本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。 |
| ⑥ 調 査 書 | 本校所定の用紙を使用し、在籍（出身）中学校等の長が作成したもの。 |
| ⑦ 成 績 一 覧 表 | 本校所定の用紙を使用し、在籍(出身)中学校等の長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。ただし、本校の推薦選抜志願用に提出した場合、及び過年度卒業生の場合は、提出の必要はありません。 |

(注) ただし、出願資格(4)に該当する者（海外の現地校および国際学校を卒業した者および卒業見込みの者）は、「調査書」に代えて当該学校が発行した成績証明書および卒業（修了）証明書また同見込証明書を提出してください。

- (4) 出願の方法等

(ア) 志願者は、WEB出願サイトにおいて、試験種別のうち「帰国子女特別選抜」を選択した後、必要な情報を入力します。入力完了したら志願者情報を印刷し在籍（出身）中学校の

確認を受けるようにしてください。

- (イ) 志願者は、WEB出願サイトでの手続きが完了しましたら、出願サイトから「受験票・写真票・宛名票」をご自宅やコンビニエンスストア等で印刷し、「受験票」「写真票」「宛名票」を3つに切り離し、「写真票」及び「宛名票」を「海外在住状況説明書」とともに在籍（出身）中学校に提出してください。

なお、「受験票」は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。

- (ウ) 出願手続きとして本校に提出が必要な書類は上記(2)の③写真票、⑤海外在住状況説明書、⑥調査書及び⑦成績一覧表の4種類となります。封筒の表に「出願手続き書類在中」と朱記し、在籍（出身）中学校等において一括して提出してください。（書類は、二つ折にしないでください。）なお、郵送の場合は簡易書留で送付してください。なお、志願者から提出された宛名票は適宜ご利用ください。
- (エ) 願書受付後の志望コースの変更は認めません。
- (オ) 出願書類の提出先

| |
|---|
| 〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16番地1 八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係 TEL 0178-27-7233 |
|---|

3. 選抜の実施方法

- (1) 入学者の選抜は、学力試験・作文・面接試験及び調査書等の総合判定に基づいて行います。なお、学力試験の教科及び配点は次のとおりです。

| 教科名 | 理科 | 英語 | 数学 |
|-----|--------|----------|--------|
| 配点 | 100点×2 | 100点×1.5 | 100点×2 |

- (2) 学力試験の解答はマークシート方式となりますので、黒鉛筆（HB）を用意してください。また、作文と面接を行います。

4. 学力試験日時及び会場

- (1) 学力試験日時

| 2月11日(日) | 9:30~10:20 | 10:40~11:30 | 11:50~12:40 | 13:30~14:20 | 14:40~ |
|----------|------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| | 理科 | 英語 | 数学 | 作文 | 面接 |

- (2) 学力試験の会場

八戸工業高等専門学校

- (3) 受験上の注意

- ① 受験者は、学力試験当日9時10分までに指定された試験室に入室してください。
- ② 受験票に記載してある「受験者心得」をよく読んでおいてください。

5. 合格者の発表

令和6年2月26日(月)15時に受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、在籍（出身）中学校等の長に「合格通知書」等を発送します。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

6. 入学確認書の提出

学力試験の合格者に対して、日程の関係上、入学意志の有無を速やかに確認する必要がありますので、在籍（出身）中学校等の長は合格者の意志を確認の上、入学確認書を3月15日(金)14時必

着で郵送または持参により提出してください。期限までに郵送等ができない場合は、FAX または電子メールにより期限までに送信したうえで、別途原本を郵送または持参により提出してください。

なお、入学確認書の用紙は、合格通知の際にお送りします。

Ⅲ. 追試験

受験者がインフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等の感染症等を理由として、前述の各選抜に定める試験等（以下、「本試験」という。）を受験できなかった場合には追試験を実施します。

1. 追試験対象者

学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に感染し、本試験を受験できない者。なお、本試験を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

2. 追試験受験の手続き

追試験対象者となる事由が分かり次第、在籍（出身）中学校等を通じて速やかに本校学生課入試・キャリア支援係（TEL 0178-27-7233）へお知らせください。追試験受験に必要な手続きを連絡します。

なお、受験直前（前日夜や当日朝など医療機関の受診が間に合わない場合）に、追試験対象者となる事由が分かった場合は、受験者または保護者から速やかに本校学生課入試・キャリア支援係へお知らせください。

3. 追試験日時及び会場

(1) 推薦による入学者の選抜

面接試験日及び会場 令和6年2月3日(土) 八戸工業高等専門学校

面接時間 集合時間等の詳細については、在籍中学校等の長宛に通知します。

(2) 学力試験による入学者の選抜及び帰国子女特別選抜

学力試験日及び会場 令和6年2月25日(日) 八戸工業高等専門学校

試験日程・科目 各選抜とも本試験に準じます。

4. 追試験結果の通知及び合格者の発表

(1) 推薦による入学者の選抜

追試験の結果は、令和6年2月6日(火)に、推薦のあった在籍中学校等の長宛に発送します。

なお、電話等による問い合わせには応じられません。

合格内定者は、2月16日(金)までに入学確約書を提出してください。

合格者の発表は、本試験と同じく、令和6年2月26日(月)15時に行います。

(2) 学力試験による入学者の選抜及び帰国子女特別選抜

合格者の発表は、令和6年3月1日(金)15時に、受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、在籍（出身）中学校等の長に「合格通知書」等を発送します。なお、電話等による問い合わせには応じられません。

入学確認書について、学力選抜（複数校）の合格者については3月12日(火)14時必着、学力選抜（一般）及び帰国子女特別選抜の合格者については本試験と同じく3月15日(金)14時必着で郵送または持参により提出してください。

Ⅳ. 「学力試験による入学者の選抜」における最寄り地等受験制度

国立高等専門学校機構では、「学力試験による入学者の選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験者は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験者は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（下記に記載している本校の「主たる受験地」は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係

電 話：0178-27-7233

相談期間：令和5年11月1日(水)～令和6年1月30日(火)

最寄り地等受験制度会場一覧 掲載先（機構ホームページ）

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.html>

（機構ホームページ）

本校の「主たる受験地」：八戸試験場、青森試験場

※「推薦による選抜」、「帰国子女特別選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、原則受け付けません。



（機構ホームページ）

最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は、WEB出願画面で受験地選択時に「最寄り地等」を選択し、機構ホームページの「会場一覧」を参照して入学願書や受験票・写真票に、事前相談の結果受け入れ可となった会場の「会場番号、会場略称」を記載してください。

Ⅴ. 追加合格

追加合格の有無については、3月15日(金)17時にホームページでお知らせします。

追加合格がある場合は、追加合格者の在籍（出身）中学校等に電話等で連絡しますので、当日は確実に連絡がとれるような措置を講じておいてください。

なお、入学確認書等の手続きについては、追加合格者の連絡の際にあわせてお知らせします。

Ⅵ. 受験及び入学後に配慮を必要とする者等で入学を志願する場合の事前連絡

本校では、難聴者、弱視者、その他身体の不自由な者及び発達障害等の理由により、受験上及び修学上の支援が必要な者に対して、合理的配慮の提供を行っています。合理的配慮の提供が必要な受験者は、在籍中学校等を通じて、本校学生課入試・キャリア支援係に直接その事情を連絡し、別に、次の事項を記入した「身体等の状況の記録」を作成し、医療機関が発行した健康診断書など、「身体等の状況の記録」に記載した内容を証明する書類を添付して提出してください。

- (1) できるだけ詳細な身体等の状況及び中学校等で配慮している措置
- (2) 受験に当たって配慮してほしい措置
- (3) 入学後、本校において特に配慮する必要がある措置又は指導上留意すべき事項

提出の時期 推薦選抜志願者 令和5年12月1日(金)まで

学力選抜志願者 令和6年1月12日(金)まで

提出先 八戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係 TEL 0178-27-7233

Ⅶ. 個人情報取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅷ. 学力試験による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示

受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

1. 申請者

学力試験による入学者選抜の受験者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)

2. 開示内容

学力試験の科目別得点

(注) 推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

3. 申請期間

令和6年3月1日(金)から4月30日(火)までとします。ただし、追試験の受験者は令和6年3月6日(水)から4月30日(火)までとします。

(土曜日、日曜日及び祝日を除き、9:00~12:00、13:00~16:00)

4. 申請に必要な書類

- ① 八戸工業高等専門学校入試成績開示申請書
- ② 本校受験票

(注) 入試成績開示申請書は、本校ホームページからプリントアウトすることができます。

5. 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票を提示し、学生課の窓口で申請してください。

6. 開示の方法

本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に文書により開示します。ただし、申請者が多数の場合は、当日のうちに開示できないことがあります。

7. 郵送による申請

- ① 遠隔地に居住する等の理由で本人が来校することができない場合は、郵送でも受け付けますので「4①の申請書、本校の受験票、返信用封筒」を同封してください。(4月30日(火)消印有効。)
- ② 返信用封筒(開示通知書送付用)
長形3号の封筒に、本人の郵便番号・住所(入学願書に記載されている住所に限る)・氏名を明記の上、564円分の切手を貼ってください。(一般書留料金を含みます。)
- ③ 郵便により申請した場合には、提出された返信用封筒を使用し郵送により開示します。(1週間程度日数がかかる場合があります。)

8. 問い合わせ先 及び 郵送先

〒039-1192 八戸市大字田面木字上野平16番地1

八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係 TEL 0178-27-7233

Ⅷ. 入学手続等

1. 合格者に対して、令和6年3月19日(火)10時から入学手続を行うとともに、学校の概要等についても説明しますので、保護者同伴で出席してください。
2. 当日出席しない者及び入学料を納入しない者（入学料免除等の申請者を除く）は、入学の意志がないものとして取り扱います。
3. 詳細については、合格通知の際に連絡します。

Ⅸ. 入学案内

1. 入学時に必要な予定経費

- (1) 入 学 料 84,600円
 - (2) 授 業 料 前期分 117,300円 (年額 234,600円)
在学中に改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。
 - (3) 寄宿料（寮生のみ） 複数室 半期分4,200円 (年額8,400円)
個 室 半期分4,800円 (年額9,600円)
 - (4) 学寮諸経費（寮生のみ）
 - ・学寮運営費 一 般 寮 前期分61,800円 後期分 92,800円
混住型国際寮 前期分80,000円 後期分119,900円
 - ・学寮給食費 1ヶ月分 約29,000円
 - (5) 教科書・教材費 約75,000円～86,000円（コースによって多少違います。）
 - (6) その他諸経費 約40,000円（学生会入会金など）
 - (7) 服 装 費 約10,000円（作業服など）
 - (8) 制 服 男 子 約62,000円
〃 女 子 約58,000円
- ※上記の額は改定される場合があります。

2. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。但し、倒産・リストラ等による場合は認められません。
また、経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。
- (2) 経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。
- (3) 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が困難であると認められる場合は、寄宿料（月額700円または800円）を免除する制度があります。

3. 高等教育の修学支援新制度

令和2年4月から実施された高等教育の修学支援新制度に本校も対象となっております。
学ぶ意欲がある学生で、家計の収入等の要件を満たす場合には、支援区分に応じて、入学料及び授業料の減免と給付奨学金による経済的支援を受けることができます（4～5年生、専攻科生対象）。
制度の詳細に関しましては、文部科学省HPをご確認ください。

4. 奨 学 金 制 度

- (1) 日本学生支援機構奨学金
日本学生支援機構の奨学金は、経済的理由により修学が困難である優れた学生等に対し貸与

又は給付されます。賃与・給付月額等詳細に関しましては、日本学生支援機構HPをご確認ください。

(2) 八戸工業高等専門学校奨学金

本校では、経済的理由により就学困難であって、人物に優れ、学業に精励している学生に、奨学金として250,000円（特別奨学生は300,000円）までを給付する制度があります。

(3) その他の奨学制度

八戸市、青森市等の地方公共団体、各種民間団体、あしなが育英会、交通遺児育英会等の奨学制度があります。

5. 高等学校等就学支援金制度

御家庭の教育費負担軽減を図るための、国による授業料支援の仕組みです。本校では1年生～3年生を対象に、保護者の所得に応じて支給され、授業料負担が実質0円になります。

※就学支援金は、学生本人（保護者等）が直接受け取るものではありません。学校が学生本人に代わって国から就学支援金を受け取り、授業料に充当するものです。なお、授業料は年間234,600円（月額換算19,550円）です。

【受給資格】

高校等（高専、高等専修学校等を含む）に在学する、日本国内に住所を有する方が対象です。ただし、次のいずれかに該当する方は対象となりません。

- ・保護者等の所得について、以下の算定式により計算した額が、30万4,200円以上の方（年収目安910万円以上の方）**【算定式】市町村民税の課税標準額×6%－市町村民税の調整控除の額**
- ・高校等（修業年限が3年未満のものを除く）を卒業又は修了した方
- ・高校等に在学した期間が通算して36月（定時制・通信制等の場合は別途算定）を超えた方

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】（卒業認定方針）

本校では、以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

- DP 1. 豊かな人間性の涵養
豊かな教養と幅広い視野を備え、地球環境や人類社会における科学・技術の重要性を理解できる。
- DP 2. 数学・自然科学・情報処理知識の修得
数学、自然科学の基礎知識、及び応用数学、応用物理、情報処理に関する知識を身につけ、それらを問題解決に応用できる。
- DP 3. 専門知識の修得
得意とする専門分野の知識と技術、及び他の専門分野の基礎知識を身につけ、課題解決に応用できる。
- DP 4. 課題発見力・探究心と協働性
自ら課題を発見して探究する姿勢を持ち、協調性を発揮してチームの一員として仕事に取り組むことができる。
- DP 5. 地域社会への貢献
地域の課題に関心を持ち、その解決に貢献しようとする姿勢を持つ。
- DP 6. 異文化理解とコミュニケーション能力
異文化を理解する姿勢を持ち、討議・発表力と英語基礎力を身につけて研究発表等で活用できる。

【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を育成するため、一般科目の学修と連携しつつ低学年から専門科目を少しずつ配置する「くさび型教育」の特長を活かし、知識と技術を体験的に身につけられるカリキュラムを編成します。学修の成果は、試験や課題レポートなど、各科目のシラバスに記載された評価方法により評価します。具体的なカリキュラム編成方針は以下のとおりです。

- CP 1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。
- CP 2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。
- CP 3. 得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎及び応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。
- CP 4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。
- CP 5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。
- CP 6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるためにコミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

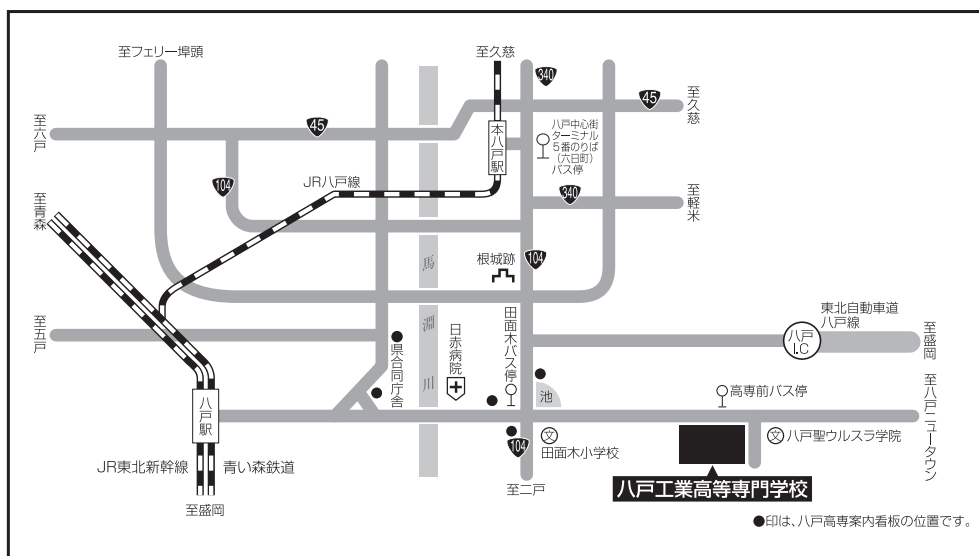
試験場案内

★ 八戸駅から高専まで（東北新幹線八戸駅から高専まで2.8km）

- タクシー（約5分）
- 南部バス（約10分）
 - ・ 八戸ニュータウン・聖ウルスラ学院線（八戸ニュータウン行）高専前下車
 - ・ 八戸駅・聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス／市営バス共同運行
 - ・ 八戸駅線（司法センター前・田面木・日赤病院経由）（中心街方面行）田面木下車（徒歩10分）

★ 八戸市内六日町から高専まで（JR八戸線 本八戸駅から高専まで約5km）

- タクシー（約20分）
- 市営バス（約30分）
 - ・ 八戸聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス（約30分）
 - ・ 八戸駅線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・ 一日市線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・ 三戸方面線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）



青森会場案内

◎面接試験（令和6年1月20日(土)）

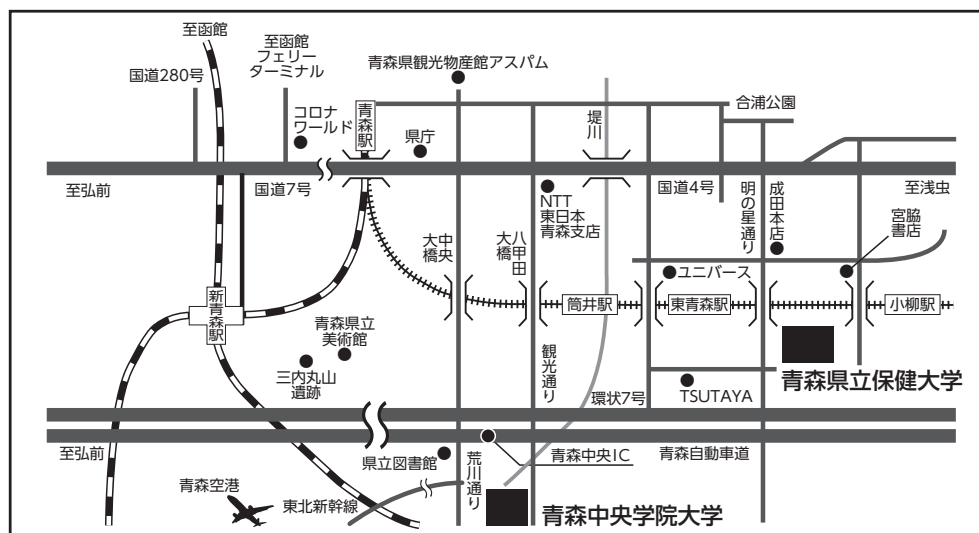
青森県立保健大学（青森市大字浜館字間瀬58-1）

- 青森駅から「鉄道」利用 <青い森鉄道 八戸方面> 行
「東青森駅」（約8分）または「小柳駅」（約10分）下車後徒歩約10分
- 青森駅から「バス」利用 <青森市営バス 戸山団地または沢山> 行
「県立保健大学前」（約20分）下車
- 青森駅から「タクシー」利用（約7km：20分）

◎学力試験（令和6年2月11日(日)）

青森中央学院大学（青森市横内字神田12-1）

- 青森駅から「バス」利用（約35分）
 - ・青森公立大学・モヤヒルズ線<青森市営バス モヤヒルズ行または青森公立大学行>
「青森中央学院大学前」下車
 - ・横内環状線（左回り）<青森市営バス>「青森中央学院大学前」下車
 - ・公立大・モヤヒルズ線<JRバス東北>「青森中央学院大学前」下車
- 青森駅から「タクシー」利用（約7km：20分）



調査書記入要領

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)
また、調査書用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

1 記入上の一般的注意

- (1) 調査書は、令和5年12月末現在で記入する。
- (2) 数字は、算用数字を用いる。
- (3) 記入する必要のない欄又は記入事項がない欄は、斜線を引く。
- (4) 「校長氏名」の欄の印は職印とする。
- (5) 「選抜区分」の欄については、該当する全ての項目の先頭の□を黒く塗りつぶしてください。
学力選抜の項目では、「学力」の先頭の□を黒く塗り潰すとともに、()内の「一般」又は「複数校」の何れかを黒く塗り潰してください。
なお、**推薦選抜の受験者**にあつては、併せて「学力」の項目についても選択し該当部分を黒く塗りつぶしてください。
また、9月に**国際的エンジニア育成特別選抜**を受験した場合は当該項目についても黒く塗りつぶしてください。
- (6) 「受験地」の欄については、該当する会場を黒く塗りつぶしてください。なお、「最寄り地等」を選択した場合は、()内に事前相談の結果受入れ可能となった高専名を記入してください。
- (7) 「第1志望校」の欄は、該当する項目を○で囲む。(合否には影響ありません。)
- (8) 「受験番号」の欄は、「写真票」等を確認の上記入してください。

2 各欄記入上の注意

- (1) 「氏名」の欄には、次のように記入する。
 - ア 戸籍上の氏名を記入する。
 - イ 外国人の場合、日本名による通称がある場合は、外国人の氏名とともにその下に()を付して通称を記入する。
- (2) 「入学・転入学・編入学」については、生徒が第1学年に入学した年月日または転入学・編入学した年月日を記入するとともに、入学・転入学・編入学について該当する文字を○で囲む。
- (3) 「学校名」の欄には、分校の場合、学校名とともにその下に()を付して分校名を併記する。
- (4) 「卒業見込・卒業」については、校長が卒業を認定する予定の年月日又は認定した年月日を記入するとともに、卒業見込・卒業について該当する文字を○で囲む。
- (5) 「転入学・編入学の記録」の欄には、以前在学していた学校名と転・編入学年を記入する。
また、海外帰国生徒については、この欄に㊦と朱書したうえ、海外在住地名、海外在住期間を〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月と記入する。
- (6) 「各教科の学習の記録」の欄には、次のように記入する。
 - ア 第1学年及び第2学年の各教科の評定は、指導要録に記載されたものを転記し、「計」の欄には、各学年の各教科の評定の合計を記入する。
 - イ 第3学年の各教科の評定は、次のとおりとする。
 - (ア) 原則として、令和5年12月末までの学習に基づいて記入する。
 - (イ) 評定は5段階で表し、5段階の表示は、5、4、3、2、1とする。
その表示は、中学校学習指導要領に示す目標に照らして、「十分満足できると判断される

もののうち、特に高い程度のもの」を5、「十分満足できると判断されるもの」を4、「おおむね満足できると判断されるもの」を3、「努力を要すると判断されるもの」を2、「一層努力を要すると判断されるもの」を1とする。

なお、盲学校、聾学校、養護学校中学部及び中学校特別支援学級在籍者の評定については、当該学校の評定方法により記入する。

また、他都道府県からの出願者については、当該都道府県の評定方法により記入する。

(ウ) 「計」の欄には、各教科の評定の合計を記入する。

ウ 「総計」の欄には、学年別評定の合計を記入する。

エ 臨時休業等の理由により、評定を記載できない場合は、その理由を付して「記載不可」とする。(例：「新型コロナに伴う臨時休業のため記載不可。」)

(7) 「特別活動等の記録」の欄には、次のように記入する。

ア この欄には、原則として第3学年について記入するが、第1学年、第2学年において、顕著な活動等がある場合は、そのことについても記入する。

イ 「学級活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、「部活動」の各欄には、顕著な活動等がある場合、それらの活動状況について**具体的に記入**する。

ウ 「その他」の欄には、学校内外における**奉仕活動・表彰を受けた行為や活動等で顕著な活動**がある場合、それらの活動状況について**具体的に記入**する。

エ 臨時休業や大会の中止等により記載できない場合は、その理由を記入する。(例：「○○○に参加予定であったが、新型コロナの影響により中止。」)

(8) 「資格・特技」の欄には、取得している資格及び特技について**具体的に記入**する。

(9) 「総合的な学習の時間の記録」の欄には、学習活動や評価の観点、生徒にどのような力が身に付いたかなどを文章で記述する。原則として、第3学年の学習に基づいて記入するが、第1学年、第2学年において顕著な取組等がある場合は、そのことについても記入する。

(10) 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄には、生徒の状況を総合的に把握する上で参考となる次のような事項などについて記入する。

ア 各教科等に関する所見

イ 行動に関する特記すべき事項及び所見

ウ 生徒の人柄や特徴に関する所見

エ 生徒の成長の状況に関わる総合的な所見

オ 無欠席、無遅刻、無早退等特筆すべき事項

カ (7)、(8)において書ききれない事項

(11) 「欠席の状況」の欄には、次のように記入する。

ア 「欠席日数」の欄には、各学年ごとの欠席日数を記入する。

イ 同一学年において7日以上欠席がある場合には、その理由を備考欄に記入する。

(12) 「健康等に関する特記すべき事項」の欄には、次のように記入する。

ア 健康や身体等の状況に関し、特記すべき事項や指導上参考となる諸事項がある場合は、それを記入する。

イ 事前連絡において、「身体等の状況の記録」を提出した者については、「身体等の状況の記録」提出」と記入する。

(13) 令和5年3月以前に中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者については、各教科の評定等は生徒指導要録に記載されたものを転記し、その他は、生徒指導要録に記載された内容をもとに、(1)~(12)に準じて記入する。

受験番号

65-

令和6年度入学者選抜試験

推薦書

令和 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

学校名

校長名

印

下記の者は、貴校の推薦入学にふさわしい者と認め、責任を持って推薦いたします。

記

| | |
|------------------------------|--------------------------|
| フリガナ 受験者氏名 | 男・女 |
| | 平成 年 月 日生 |
| 志望コース | 第一志望 (コース) 第二志望 (コース) |
| 志望の動機・理由及び志望コースに対する適性・興味・関心等 | |
| 人物・生活態度等 | |
| その他の参考事項 | |

(注) 記入の際は、裏面の「記入要領」を参照してください。

推薦書記入要領

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)

また、推薦書用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

「受験番号」の欄は、「写真票」等を確認の上記入してください。

推薦書の記入にあたっては、ただ単に「まじめである」、「よく活動する」というような概略的、抽象的な記入ではなく、具体的事実に基づいて記入してください。

1. 志望コース

志望コースは第二志望まで選択することができますので、第二志望がある場合は記入漏れのないように注意してください。

2. 志望の動機・理由及び志望コースに対する適性・興味・関心等

本人の志望コースに対する動機・適性及び意欲等、並びに推薦される根拠となった理由を具体的に記入してください。第二志望がある場合、第一志望のコースを中心に記載いただいで構いません。

3. 人物・生活態度等

本人の人物、性格、生活態度、健康状態、趣味等について、特に他の者と違う経験など特徴点を具体的に記入してください。

4. その他参考事項

上記以外について、特記する事項があれば記入してください。

帰国子女特別選抜 海外在住状況説明書

令和 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

志願者名

保護者名

印

下記の記載事項は、事実と相違ないことを誓約いたします。

記

1. 海外在住地名

2. 海外在住期間 志願者 年 月 日 ~ 年 月 日

保護者 年 月 日 ~ 年 月 日

3. 出国前・海外在住中・帰国後の学歴

| 学 校 名 | 学校所在地 (国・都市名) | 期 間 |
|-------|------------------|-----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

【備考】特に参考になることがあれば、ご記入ください。

成 績 一 覧 表

| 学年 | 評 定 | 教 科 | | | | | | | | |
|----------|-----|---------------|-----|-----|-----|---------|-----|-------|-----------|-------|
| | | 国 語 | 社 会 | 数 学 | 理 科 | 音 楽 | 美 術 | 保 健 育 | 技 術 ・ 家 庭 | 外 国 語 |
| 第 1 学 年 | 5 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | 4 | | | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | | |
| | 2 | | | | | | | | | |
| | 1 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 第 2 学 年 | 5 | | | | | | | | | |
| | 4 | | | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | | |
| | 2 | | | | | | | | | |
| | 1 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 第 3 学 年 | 5 | | | | | | | | | |
| | 4 | | | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | | |
| | 2 | | | | | | | | | |
| | 1 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 令和 年 月 日 | | 中学校名 (分校名) | | | | 校 長 氏 名 | | | 印 | |

《作成要領》

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可)
 また、成績一覧表用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

1. 令和5年12月末現在で作成し、在学する第3学年の普通学級在籍者全員（長期欠席その他の理由により令和6年3月卒業の見込みがない者を除く。）について、第1学年及び第2学年における各教科の評定並びに第3学年12月末現在の各教科の評定別人数を記入する。
2. 「令和 年 月 日」欄には、作成年月日を記入する。
3. 「校長氏名」の欄の「印」は職印とする。